

# さかきまさと通信

後援会だより No. 2101

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、ご家族おそろいで清々しい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、後援会の活動をはじめ、様々な面で温かいご支持とご支援を賜り、南砺市議会議員として当選させていただき、心より感謝申し上げます。

さて、昨年 11 月 28 日より正式な任期が始まり、12 月 1 日の臨時議会において、議長、副議長選挙が行われ、水木議長、西井副議長が選出されると共に、3つの常任委員会（総務文教、民生病院、産業建設）の所属が決まり、民生病院常任委員会に所属することになりました。

12 月 5 日には、12 月定例会が招集され、田中市長の所信表明と議案の提案理由説明が行われ、会期は 24 日までの 20 日間となりました。

12、15 日の両日、代表質問と一般質問が行われ、12 日午後 1 時より一般質問の 4 番手として登壇する機会をいただきました。後援会の方々に傍聴いただき、緊張のひと時ではありましたが、安全安心なまちづくりについて、洪水ハザードマップの作成の根拠と、防災訓練等の今後の対応とスケジュールや、弱者の方々をいかに避難させるかを質問しました。質問の 2 点目には、福光インターを活用した地域振興策に

ついて、公衆便所を併設した観光案内所の設置、企業誘致に向けた環境整備と、公営霊園の設置について当局の見解を質しました。

また、16～18 日にかけて、常任委員会があり、付託案件の審議を行い、19 日の全員協議会において、自治振興会単位での「地域づくり談義」の予定が公表され、24 日に討論、採決が行われ最初の定例会が終わりました。

詳細につきましては、今後の後援会活動の中で報告させていただく機会を設けていく所存でありますので、今後ともご理解とご支援賜りますようお願い申し上げます。



12 日の一般質問の様様